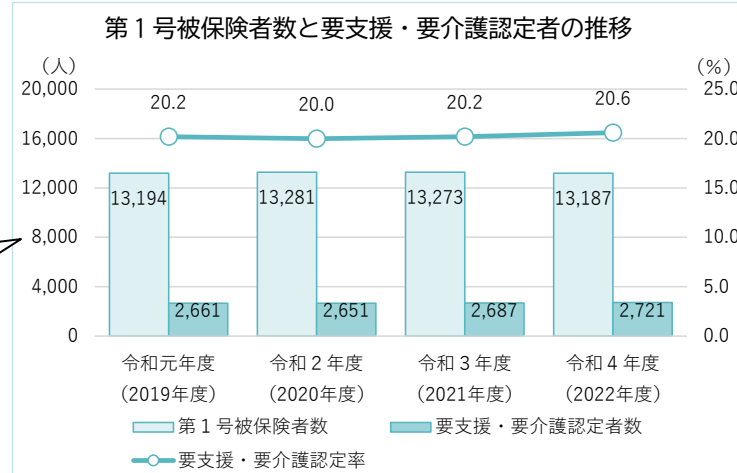


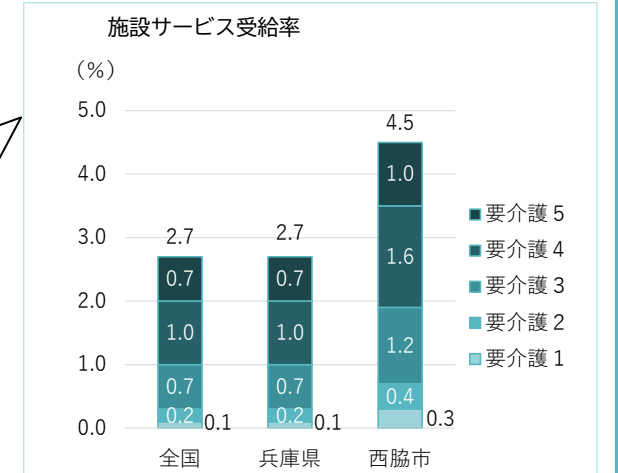
西脇市の現状

要介護認定率・施設サービスの受給率が高い

【要介護認定の状況】  
要介護認定率は、高齢化に伴い、年々増加しています。



【施設サービス受給率の状況】  
(令和4年度実績)  
・全国平均、兵庫県平均より高い。  
・兵庫県内で5番目に高い。  
・北播磨地域で一番高い。



現状からみえる課題

- ◇**要介護状態に至らないための健康に資する施策の必要性**
  - ・後期高齢者の増加に伴い要介護認定者が増加
  - ・介護予防のための通いの場への参加は低調。
  - ・要介護認定を受けていない約3人に1人は認知機能低下リスク、約4人に1人はうつリスクを抱えている。
  - ・後期高齢者の医療費は、同じ規模の市町より高く、筋・骨格系、骨折などの医療費が高い状況にあり、要介護認定のある後期高齢者は糖尿病の有病率が高い。
- ◇**要介護認定の平準化及び適正化に資する取組の必要性**
  - ・調整済み認定率は、全国と同水準で要支援1が低く、要介護1の割合が高い。
- ◇**在宅介護の限界点の向上の必要性**
  - ・ひとり暮らしの高齢者が増加
  - ・介護保険サービスの種別では、特に施設サービスの受給率が高い。
  - ・要介護者も介護者も高齢化している。
  - ・要介護3以上の人は、施設入所を検討する割合が高い。
  - ・要介護認定者が今後希望する生活の場所は、53.9%が「自宅」で最も多いものの第8期計画策定時より17.3ポイント減少。また、「介護保険施設」が25.2%で第8期計画策定時より10.8ポイント増加。
  - ・介護者が、不安を感じる介護は、排せつの世話と認知症への対応が多い。
  - ・ケアマネジャーは、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」、「認知症対応型通所介護」、「看護小規模多機能型居宅介護」、「訪問介護」、「小規模多機能型居宅介護」のサービスが不足していると感じている。
  - ・複合化・複雑化した支援ニーズを持つ世帯が増加
- ◇**高齢者の地域での生活支援の必要性**
  - ・ケアマネジャーは、「ごみ出し支援」「通院介助」「外出支援」を希望する人が多いと感じている。
  - ・生活では、自動車による移動が多いため、免許を返納した場合、外出の機会が減少する可能性がある。

対応策

- ◇**健康づくり・疾病対策の強化**
- ◇**フレイル状態の早期発見と予防対策の強化**
- ◇**要介護認定の適正化の取組**
- ◇**介護予防、重度化防止の推進**
- ◇**地域ケア会議・包括的な支援体制の強化**
- ◇**利用者の意思を尊重したケアマネジメントの支援**
- ◇**在宅介護が継続できるサービス基盤の整備**
- ◇**認知症の早期発見・早期対応**
- ◇**終末期の医療・介護の体制づくり**
- ◇**ニーズに対応した生活支援の充実**
- ◇**住民主体の支え合いのしくみづくり**

取組施策

- 1. 高齢者の健康づくり・社会参加を通じた介護予防の推進**
  - (1)若年層からの健康づくり事業の推進
  - (2)生きがい対策の推進
  - (3)社会参加・交流の促進

【拡充】 ・介護予防啓発事業  
・生活支援サポーター養成講座及び活動支援事業
- 2. 地域における包括的な支援体制の推進**
  - (1)包括的な地域ケア体制の推進
  - (2)在宅生活を支えるサービスの充実
  - (3)在宅医療・介護連携の推進
  - (4)高齢者の安心な住まいの確保
  - (5)安全・安心なまちづくり

【拡充】 ・重層的支援体制整備事業  
・生活支援体制整備事業  
【新規】 ・ヤングケアラー・若者ケアラーへの支援  
・介護事業所に対する業務継続計画(BCP)の作成支援
- 3. 一人ひとりの意思を尊重した生活の実現**
  - (1)認知症施策の推進
  - (2)高齢者の尊厳への配慮と権利擁護の推進

【新規】 ・認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業
- 4. 介護サービスの充実と介護保険制度の円滑な運営**
  - (1)介護保険サービスの基盤整備
  - (2)介護保険制度の円滑な運営
  - (3)介護人材の確保

【拡充】 ・地域密着型サービスの充実  
・介護分野資格取得支援事業  
・将来の介護職の担い手の発掘  
【新規】 ・業務効率化に向けた支援策の検討